

緑ヶ丘だより

発行 令和2年9月

座間市緑ヶ丘地区自治会連合会

自治会入会のメリットとは 205世帯
緑ヶ丘南自治会 会長 湯浅一弘

「自治会に入るメリットは何か？」という議論があります。実に難しい問題です。自治会に入っていないなくても、顔見知りになれますし、挨拶を交わすこともできます。世間話もできれば、困ったときに隣近所で助け合うことも気持ちさえあればできます。どうも日常生活の範囲では自治会に入っていることの大きな意味合いは見つけられそうにありません。その上に、回覧は回さなくてはならないし、会費も払って、しかも何年かに一度は役員が回ってくるというのでは、「自治会に入るメリットは？」という議論がうまれるのも無理はありません。

新型コロナウイルスの影響が大きくなってきた今年3月下旬、希望する自治会員に備蓄していたマスクを配布しました。市中にマスクが枯渇し、困っている方がおられるだろうと考えての配布でした。備蓄品は会員の会費により購入したもので、配布は当然のことでした。

隣近所のお付き合いだけではこのような力を生み出すことは難しいことです。災害時のように大きな力が必要になるときに向けて、自治会は備蓄や避難所開設訓練など様々な準備・活動をしています。もちろん、そのためだけに自治会があるとは言いませんが、隣近所の範囲を拡げて日常的にコミュニケーションを取り、自治会の諸活動やイベントによってその幅を拡げ、絆を太くしておけば、必要になったときに発揮できる力は想像以上に大きくできるのではないのでしょうか。改めて自治会を、絆を育むコミュニティにしていきたいと考えます。

ウィズコロナ時代

専任理事 小野忠信

今年も引き続き専任理事を拝命しましたので宜しくお願い致します。

「ウィズコロナ時代」最近マスコミでよく使われている言葉ですが、治療薬がなかなか開発されないので止むを得ないとは思いますが、「ウィズ」という言葉にすごく抵抗を感じております。何とか今まで通りの普通の生活がおくれる令和時代になりたいと強く願っております。

私たちの自治会活動も今年は色々な行事が中止になりました。住民同士の『絆』を繋ぐ恒例行事が無くなり、まさに緑ヶ丘地域丸ごと「ソーシャルディスタンス」の状況です。この期間はご近所様と逢うチャンスも少なく、今までより家族と一緒にいる時間が沢山ありますので、家族の間で今まで以上に親密度が増していच्छると思います。

さて、このような状況で災害が起きたらどうなってしまうのでしょうか？どうかご近所との助け合いだけは常に頭において頂いて、日常を過ごして戴きたいものです。

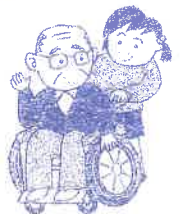
政府や座間市役所危機管理課の計画では、コロナ禍では座間中学校の避難所の収容人員が従来までの約1/3になってしまいます。災害時には今まで以上に自分の家族は自分たちで守る。自分たちで命を守る行動が出来るように備えておくことが必要になりました。

皆さま準備は大丈夫でしょうか？

「ウィズコロナ時代」、賢くコロナに打ち勝って「明るい未来と夢のある緑ヶ丘地域」を次の世代に残していきたいものです。

令和2年役員・会員数 5月

役職名	氏名	所属自治会	会員数
会長	湯浅一弘	緑ヶ丘南	205
副会長	小野忠信	"	
書記	須賀美千代	小田急相武台南	122
会計	百瀬智一	緑ヶ丘中央	255
会計監査	藤塚捨雄	第一住宅相武台団地	167
会計監査	堀丈夫	さつき	176
幹事(防犯)	田野口勝彦	新緑ヶ丘	133
幹事(防災)	荒川理介	相武台緑ヶ丘	97
幹事(防災)	熊澤克人	わかば	23
幹事(広報)	大塚幸伸	緑ヶ丘六丁目	162
		合計	1,340



「座間都民？ なんだあそりゃー」と多くの方が首をかしげることでしょう。

端的にお答えしましょう。座間に住みながら心も頭も東京を向いてる、東京漬けの人たちのことを意味しています。もう少し詳しく、いや具体的に申し上げた方が良さそうです。

東京や横浜などに務めている人々、確かに住まいは座間、既婚者ですと妻子は当然座間。ご本人はその日の大半を勤務地である東京、横浜、川崎などで過ごし我が家には睡眠のために帰って来ていた（いる）人達のことです。好んでそういった生活を送っているわけではありません。もちろんお仕事の為です。したがって頭の中も心の動きも仕事でいっぱいです。すなわち東京のオフィスやお得意先の動き、営業成績の動向に神経をすり減らしながら通勤列車に押し込まれて数十年、東京などに通った企業戦士の方々なのです。

残念ながら子供の教育は奥様任せ、ましていわんや近所とのお付き合い、地域活動への参加なんぞはとんでもありません。極端な例かも知れませんが、数軒先のご町内の亭主同士、道ですれ違っても挨拶会釈もなく数十年を過ごしていたとの話を聞いたことがあります。あながちあり得ないことではないでしょう。こういった座間都民の数は大変なものだと思います。その多くは完全に仕事を辞めた後も終日座間で暮らしながらも、気持ちは依然として元の勤務地の方向を向いたままのようです。ひねもすぶらぶらしながら地域への関心は薄くお付き合いも敬遠気味に過ごしているようです。この人たちが地域に関心を持ち、ビジネス生活で体得した豊富で優れた経験や知識を地域活動に生かしたら、この遅れた座間市の発展に大きく貢献できるのにと、大変残念に思っています。

市民税は払っていたとしても、家族の生活の安全と便利、地域の環境整備、子弟の教育などなどは全面的に地域が面倒見てくれたからこそ、安心して東京などで仕事に打ち込めることが出来たのです。ようやく時間に余裕が出来た座間都民、今こそ、その恩返しをする時ではないでしょうか。

大口をたたいてきましたが、小生も恥ずかしながらその座間都民の一員です。遅まきながら受けた御恩の一片なりとも地域へお返しをとの心境に、ようやくなりつつある今日この頃です。

座間市に引越しをして来て24年が経とうとしていますが、単身赴任生活や深夜帰宅の毎日で、家には寝に帰って来るだけの生活でした。そのため地域での活動は、防犯パトロールや美化デーぐらいしか参加していませんでした。

今年、定年となって新しい就職先が変わり慣れない日々と、自治会会長としての業務のダブル1年生としてスタートすることになりました。

また新型コロナウイルスのために新たな対応が求められ、対応に苦慮する日々が続いています。

引越して来て1年目の気持ちで、自治会や地域の勉強を始めています。

例えば防災について調べたところ、実際の災害が発生したケースをある調査機関が数か所の自治会で調査をした結果、防災で自治会が活動し機能したケースは1割ぐらいで、ボランティアの2割強に比べて難しい現状があったようです。それを踏まえて、地域での防災活動を考える必要があると考えています。歴代の会長の意見や、会員の皆様で何が出来るか簡単なフローチャートを作成して、誰でもができる範囲で考えていく必要があると思います。

3月まで勤務していた群馬県沼田市では、高齢化と人口減少が加速している状況で、4年連続で市の人口が約700人ずつ減少しており、老々介護や老人独居の状態が多く確認され、そのために自治会の解散が多数進行していました。空き家問題も発生して市も苦慮していました。この状況は、座間市でも近いうちに発生する可能性は十分考えられます。

今後、テレワークが主体になれば、都心近郊に住む必要性がなくなり、逆に故郷や地方へ人が移っていく可能性があるため座間市も考えてほしい問題だと考えています。

わかば自治会は、23世帯と小さな自治会ですが会員皆様のご協力を得て、住みやすい環境になるように努力して行きたいと思っています。



コロナ禍の自治会活動

さつき自治会 会長 堀 丈夫 176世帯

今年の自治会活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止と自治会活動をどの様に両立させて行くかにかかっている。自治会活動は、人と人が対面し語り合うことで進む先を決めてきたのではないかな？

コロナ禍を振り返り総括してみたい。

中国武漢市で、最初に流行した新型コロナは、ダイヤモンド・プリンセス号を巡り大きな騒動となった。日本で感染者を確認したのは1月15日、死亡者は2月13日に発生している。

政府は、4月7日に東京、神奈川等の7都府県に緊急事態宣言、4月16日には、全国に緊急事態宣言を拡大し5月25日に全面解除された。この期間を含む4カ月のさつき自治会の活動を振り返りこれからに役立てたいと思う。

当自治会は、毎月第3土曜日に定例会議を行い数か月先を確認し過ぎた事業について反省し翌月に進んでいる。特に1月以降は、次年度に向かい役員交代を如何に進めるかで苦勞する一年で一番大変な時期でありこの時にコロナ禍に襲われました。1月18日定例会議で総会までのスケジュールを立て2月15日定例会議で新役員へ引継・定期総会までの日程3月7日総会資料配布28日定期総会と計画し全会員に通知しました。しかし2月に入りコロナ感染者が増加、死亡者が増えることで定例会議すら開催できなくなりました。決まっていた3月20日新旧役員顔合わせと引継は中止し各担当役員で随時行うことにしました。総会開催は、委任状を把握し最終の打合せを3月21日に行いました。打ち合わせでは、開催自体を危険と感じ書面で行うことに変更しました。

新年度は、6月6日に第1回の会議を開き活動を始め6月21日に定例会議を軌道にのせ新年度の活動に入りました。コロナ禍で社会活動が大きく変化しテレワークの時代となりましたが、人間の生活は、地域に根差し活動することで住民に安心を届けることと考えこれからも3密（密閉・密集・密接）・接触・飛沫対策に体調管理をし新しい生活様式で行動して行きます。

コロナ禍での自治会の活動 122世帯

小田急相武台南自治会 会長 須賀美千代

新型コロナウイルスの影響ですべての行事が中止となり、今年度の会長を担当したものの引き継ぎが出来ない状態で始まり、8年前に担当した時と様子も変わり毎週会議に参加している状態です。

4月からの定例会は全員ではなく個別に行い、解除に伴い6月から通常の定例会がスタートしました。

美化デーも中止となり役員だけで行い、家族ご近所の方手伝いのもと無事草取り作業を終える事が出来、初顔合わせにもなりました。

集会所内も物置化していた所に棚を設置し使わない備品等を処分して誰が見ても分かる様に整理整頓が出来ました。6月は清掃の月でした。お疲れさまでした。

各担当の会議が始動して後半のイベントの準備に備えて行きます。

地区社協の定例会に出席。共に生きる街づくりをスローガンに見守り・要支援は名簿に登録されている方の自宅訪問は今年度はまだ実施されていない。災害時支援者の避難誘導、行事企画準備、居場所、エリア内サロン冊子の作成、広報、活動内容広報誌作成等多くの方が携わっています。

その他

新型コロナウイルス 広報ざま令和2年4月15日号に感染予防に向けて等の記事が出てます。

手洗い・うがい・咳エチケットを

外出時に気を付けるポイント

「換気が悪い密閉空間、多くの人が密集する空間、近距離（互いに手を伸ばしたら届く距離）での会話や発声する空間」で集団感染が起こりやすいと言われてます。

このような場所ではできるだけ避けましょう。

その他スーパー等の買物時の注意

店の品物を最近旦那さんが買い物に来た商品パックにさわられています。お家に帰ったらパック商品は汚染されていると思ってパックから出して保管をと。

最近、社会的距離・2m離れて並ぶことを推奨されています。スーパー等の買物でレジに並ぶときには床に線が書いてありますので互いに励行を。

NHK 医師から伝えたいこと 高齢者フレイルの方 運動しづらい・出かけづらい・栄養の偏り・会話をしない

⇒フレイルが悪化⇒筋肉の質や量が低下

高齢者 2週間の寝たきりの生活は一度に7年分の筋肉を失う。筋肉の減少による変化：血流が悪くなる、血糖値が不安定になる、免疫の働きが低下。

免疫の低下は、感染すると重症化する恐れがある。

外室をひかえ、歩くことが少なくなると

⇒足腰の筋肉が落ちやすくなる

気をつけるポイント⇒運動・栄養・人とのつながり

運動：外ではウォーキング、室内ではスクワット・片脚立ち・足踏み（体の状態に合わせて）

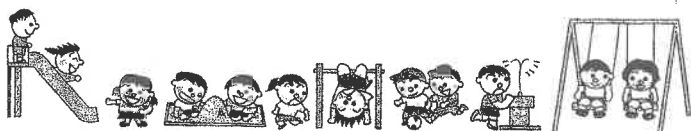
栄養：バランス良く、十分なエネルギーのある食事を心がける。

タンパク質：肉・魚・大豆

筋肉をつくるもとになる 積極的にとることを心掛け

ビタミンD：きのこ類 筋肉を作るのを助ける

人とのつながり：認知機能を維持するのに重要。電話やメールを活用し、友人同士や家族と定期的に連絡をとる。



参 考

座間市防災講演会 令和元年10月28日(月) 13時30分から16時 ハーモニーホール

第1部「地域防災活動とは 東日本大地震、あの日あの時」をキーワードとして
～日々の防災活動で災害に勝つ、災害への危機感と想定以上の備え」

講師 吉田亮一氏 YY防災ネットワーク代表・おひさま保育園理事長

第2部 シェイクアウトキックオフ ざま災害ボランティアネットワーク 毎年1月23日
吉田講師よりのアドバイス

危機感をもって考える、想定以上の備えをする。

食料・飲み水は一週間分以上を備蓄する。

ガソリンはこまめに満タンにする。

・ブロック塀対策

ブロック塀対策については、認定制度があると良いと思う。危険だとかを表示する。
仙台の方では、ブロック塀は禁止。○適マークを発行している。

全国に講演をしているが、大阪の方で小学校のプールのブロック塀が地震で倒れて
女子児童が無くなったが、あの学校で1年前に講演し、ブロック塀は指摘していた。

・自分の衣類は、枕元に、自分のお婆さんの教え。

非常袋に入れて枕元に置いておくもの

スニーカー(スリッパはダメ)、厚手の靴下、ヘッドライト、

防犯ブザー(笛では長く続かない)大きな音がでる、雨がっぱ。

避難所に行くことを決めておく

共働きで子どもが小さいなら、地震時にはどこの避難所に行くかを決めておく大事。

・避難所では、小中高校生の活躍の場がたくさんある救援物資、配給品のリストづくり、 同じ新聞2部で裏表を壁に貼っての広報、床掃除、家ではやっていないが学校ではし ている。ごみ容器の作製、細かく分別するために。

・ランドセルで身を守る

登下校時に地震の発生、落下物から身を守る。首を守ることも大事です。

① ランドセルのフタを頭にかぶせる

② 体操すわりをする。

③ 片方の手で地面を支える。

④ ゆれが収まったら、ランドセルのフタをそのままにして広い場所へ避難する。

YY防災ネット HP 検索

防災減災アドバイザー学校防災地域防災「YY防災」クリック

スクロール

「学校防災」登下校時に地震が発生したら クリック 写真があります。

ランドセルで身を守る

NHK総合テレビ 「あさいち」 カップ麺で楽&美味技・・・令和元年5月7日(火)

カップ麺のおいしい食べ方(四角い袋のラーメンではない)

定量のところまで熱いお湯を入れる。お皿などでおもしとする。

3分のものとする、2分たったらふたを素早く開け、中の麺をほぐす。

これにより麺のかたい部分が無くなる。素早くふたを閉めて、1分間待つ。これでOK。

災害時におけるカップ麺の食べ方、お湯がなくても。

定量のところまで水を入れる。ふたをして30分間待つ。当然冷たいが食べられる。

水の代わりに、炭酸水でも可。トマトジュースでも可。

オレンジジュースはおいしくない。

NHK総合テレビ 「あさいち」新型コロナ時代の救命・・・処置 令和2年9月9日(水)

人が倒れている。声掛けをする。・・・この時相手の息がかからないように少し離れてする。

倒れている人に・・・マスクをする。なければタオルをたたんで口・鼻に当てる。

胸骨圧迫はいつもの通り行う・・・終了後、自分の手・顔をよく洗う。

人工呼吸・・・口対口の人工呼吸はしない。新型コロナウイルスの感染を防ぐため。

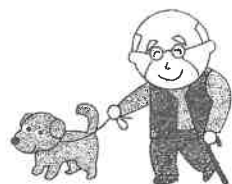
座間市に住まいを移し30年近くになりますが、長らく通勤族で地域とのつながりを意識することなく、自治会に加入したのは東日本大震災の後でした。その間にマンション管理組合の理事長、サッカー少年団の代表などを務め始め、地域とのつながりが深まってきて、大震災は自治会の役割を強く認識するきっかけでした。まずはマンションの居住者も自治会員として地域の情報を提供できればとの思いだけでしたが、自治会についてまだまだ知らないことも多い中、3期前から副会長を務めることになりました。実際には欠席も多く役員さんのお手伝いもろくにできず・・・

当時の会長様はじめ班長の皆さんにはこの場をお借りしてあらためてお詫びいたします。

このコロナ禍で会長となり、自治会のあり方をとても考えさせられました。地域全体が安心安全で、皆が心豊かになれるよう一体となって共助できる関係という理想はあるものの、人との関わりは煩わしく避けたいという方が増えている現実。何もない自治会がなくても確かにこのまま生活していけるのではとも思いました。

そこで、今の時代に自治会員の最も重要なメリットは、インターネットや市の窓口からでは得られない、地域に関する最新の的確な情報を共有できることになっていくのではとの考えに至りました。例えば災害時の避難では、広域避難所の座間中だけでは収容人数は極めて限られています。地域住民一斉の避難方法も必要ですが、単位自治会としてはその前にもっと重要な具体的な決め事を共有すべきではないかと。

そしてもう一つ、自治会に入ると役職が大変だと退会したり、新規入会が増えない状況。会員の高齢化などもあり難しい問題ですが、関連団体との人員的な関係や行政も含めた役割や連携を確認して、負担が少なくメリットを感じられる自治会に、微力ながら変えていければと思っています。



自治会役員の役職決めを3月に行いました。当自治会の役員は7名です。選出自体は各班それぞれで当番制を取っているため、あまり難航しません。

しかし、役職を決める際はそれなりに大変です。「働いている」「介護している」など理由は色々ありますが、共通して言えるのは「まとまった時間が取れない」こと。そのため、皆、極力負荷の低い役職を希望されます。

では、一番人気の無い役職は何か？

答えは・・・。そうです、皆様のご想像通り「会長」です。もう役職名だけで圧倒的な負荷を感じてしまいますよね。

実際に当自治会でも昨年までは大変でした。自治会内の会合だけでなく、上部団体の会合にも出席しなくてはなりません。

【上部団体の会合】

- ①社協の会合 : 月1回90分
- ②防災委員会 : 月1回60分
- ③市レク委員会 : 月1回60分
- ④地区自連役員会 : 月1回60分

上記の通り月4回4時間半の会合全て会長の出席が必要でした。②～④については同日にあり3時間通しで行われます。

このため、会長職は敬遠され、役職決めでは揉めに揉めて「くじ引き」で決めることも多かったそうです。

そんな会長職ですが、今年度はそこまで揉めずに決めることができました。なぜなら、今年度の会長職はそこまで負荷が高くないからです。

何故負荷を下げることができたのか？

それは上部団体の会合①～③を他の役職の担当とすることで会長職の負荷分散を行ったからです。この負荷分散は昨年度のうちに、前会長である青木さんが各方面の方々と調整し、そして前年度役員の皆さんが是としたことで実現できました。

青木さん、そして前年度役員の皆さん、どうもありがとうございました。

今年一年、新役員で努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い



きれいな街づくりを進めるために 新緑ヶ丘自治会 会長 田野口勝彦 133世帯

日本で最初に新型コロナウイルスに感染した患者が報告されたのが令和2年1月16日と言われており、6ヶ月以上もの間、世界中で感染拡大が続いています。高齢者が罹患すると重症化する恐れが高いというこの病気のため、多くの高齢者で組織する自治会の活動も事業の自粛を余儀なくされています。このような中、学校の休校、テレワーク等による在宅勤務により、各家庭からごみ集積所に排出されるごみの量も増大、それを狙うカラスや小鳥も明らかに増加し、臭いの強い生ごみや幼児のおむつなどが飛散しているのを見かけることが多くなりました。

新緑ヶ丘自治会のエリアにあるごみ集積所(23ヶ所)の多くは、利用者が輪番で清掃当番を決め、集積所の清掃や管理を行なっていますが、集積所を清掃する利用者もごみを収集する市の職員も散らかったごみを集めるのは大変な作業になっています。

燃やすごみ、燃えないごみ、プラスチック等、どこのご家庭からもごみは出ます。これを集積所に「ポン」と出せば、簡単で手間なしですが、ごみ集積所は地域の居住者が共同で気持ち良く使用する場所です。自分だけは良いだろう。次の人が清掃してくれるだろう。と言う考え方では、いつまでもごみ集積所は綺麗になりません。また不法投棄される場所となったり、近隣にお住いの方にも迷惑をかけます。

春から夏にかけては、カラスなど動物の繁殖期です。生ごみやおむつなどは、丈夫なビニール袋に入れ、カラスなどに食い荒らされないように集積所の中央部に収納し、ネットを覆いかぶせるようにすることが大切です。特に、この時期は、外から見えにくいように、破られないように工夫して集積所にごみを出し、必ずネットをかぶせることが大切です。きれいな街づくりを進めるために一人ひとりの協力が必要です。

.....
広報担当より

座間市 ごみ・資源物分別ガイド P7

プラスチック製容器包装の出し方 下部

・汚れているものや、食品くずなどが付いたものは洗うなどして必ず取り除いてください。

ここに、ふく・ぬぐうを入れた方がよいと思います。

下水道への負荷が減ります。

・洗えないものや洗いづらいものについては、「燃えるごみ」の日に出してください。

市の処理施設を見学した時、担当者からプラごみを業者に引き取ってもらう時、汚れが少なく品質がよいと業者から報奨金がもらえるそうです。

新型コロナウイルスとごみ集積所 緑ヶ丘六丁目自治会会長 大塚幸伸 162世帯

会長を5期務めましたので今期は交代と思っていましたが継続となりました。他の人に経験して欲しいと考えていたところですが。

さて我が自治会内では駐車場だった所に家が建ち、1戸建ての大きな敷地の後に2~3棟の家が建ち、必然的にごみ集積所は大きな山になりごみネットからあふれそうです。大多数の集積所は道路か歩道上にネットです。

最近では、ごみ集積所が新型コロナウイルスの感染の恐れのある場所になっています。

大多数の人は、朝にごみを集積所に出せばそれで終わりですが、ごみ集積所の前・付近の人達は、ごみが正しく出されきれいに片付くまで不安と期待の日々です。カラスにでもごみ袋を荒らされたらそれが散乱し片付けなければなりません。イライラする1日です。

収集後にゴミを出したり、収集曜日を守らないゴミ出しをする人のゴミ袋をチェックし、運よく出て来た破られた領収書をつなげて、やっと該当者を特定できます。特に金曜日の燃えるごみ収集後は、火曜日まで収集がありません。

ある不動産会社は管理物件数が6棟と多いのですが、入居者にごみ出しの指導が不十分か入居者がひどすぎるのか長年違反の常連でした。そのアパートにごみ集積所を置きなさいという地元の要請が理解されませんでした。

そこで4月末に市役所に行き所有者を調べ手紙を送って、やっと5・6年かかりましたが、5月末我が家(高齢者用に集積所あり)の向かい側にアパート2棟用のごみ集積所の設置ができませんでした。パイプとネットのごみ容器で約3万円です。

6月の地元班長会后(第3土曜)、会員の出すごみ集積所調べをし(非会員は調べていない)、またゴミ減量の努力を訴えました。

ごみ集積所のないアパートは10ヶ所程あります。これらの管理会社に電話して、ごみ山が大きくなったこと、新型コロナウイルスの感染の恐れ、不適切なごみ出しを防ぐためにもごみ集積所の設置を各社に要請しました。市のクリーンセンターの担当者にも各アパートに集積所を設置させることを連絡済みです。

7月中旬には、早くもごみ集積所を設置してくれたアパートがありました。8月には地元のK不動産ら数件の設置がありましたが、残りはいまだ未設置のままです。

最近改築されたアパート改築中のアパートには、コンテナのごみ容器が設置されています。

小規模住宅にごみ容器置場を設けなくていいのは昔の基準で、付近の住民の集積所に同意を得たこと。今住民がダメと言っている。市が行政指導に乗り出せば簡単に解決です?

